資料４－２

**大阪における今後の住宅まちづくり政策のあり方について**

**答申（タタキ台）**

**平成○○年○○月**

**大阪府住宅まちづくり審議会**

目　　次

はじめに

１章　大阪の住まいと都市を取り巻く状況と課題認識

１．住まいと都市の現状と課題

２．府民のくらしを取り巻く状況

３．大阪の人口動向

４．課題認識のまとめ

２章　めざすべき将来像

　１．住宅まちづくり政策の使命

　２．めざすべき将来像

　２．大阪の魅力を活かした多様な住まい方とその実現の方向性

３章　将来像実現に向けた住宅まちづくり政策のあり方

　１．めざすべき将来像の実現に向けた新たな政策展開の方向性

　２．住宅まちづくり政策の基本目標

　３．施策の展開方針

４章　基本目標を達成するための住宅まちづくり施策の方向性

　１．国内外から多様な人々を惹きつける住まいと都市の形成

　　（１）活力と魅力ある都市空間の形成

　　（２）大阪の魅力を活かしたライフスタイルの提案・普及

　２．誰もが活き活きとくらすことができる住まいと都市の形成

　　（１）多彩な機能（職・学・遊・住）をもつ都市の形成

　　（２）多様で魅力的な住まいを選択できる環境整備

　　（３）活力ある住宅関連産業の振興

　３．環境にやさしい住まいと都市の形成

　　（１）みどりあふれる都市の創造

　　（２）環境に配慮した住宅・建築物の普及

　　（３）環境にやさしく調和したライフスタイルの普及

　４．安全を支える住まいと都市の形成

　　（１）災害に強い都市の形成

　　（２）住宅・建築物の耐震化の促進

　　（３）犯罪に強い住まいと都市づくり

　　（４）住宅・建築物における安全性の確保

　５．安心してくらすことができる住まいと都市の形成

　　（１）住宅ストック全体を活用した府民の居住の安定確保

　　（２）土地取引等における差別の解消

　　（３）福祉の住まいとまちづくりの推進

　　（４）住まいやまちに関する情報提供・相談体制の充実

　　（５）健全な住宅関連産業の育成

５章　多様な住まい方が実現できる特色ある地域の将来像及び施策の方向性

６章　実効性を持った計画の推進に向けて

　１．住宅まちづくりに関わる各主体の役割と連携

　２．施策の適切な進行管理

はじめに

　住まうということは、人々のくらし・あらゆる活動の原点となるものであり、さらに、地域やまち、都市の活力を生み出すものです。

　住まいは、人々のくらしを支える最も重要な装置であり、あらゆる活動の拠点であるとともに、都市の重要な構成要素を成すものです。

都市は、住まうをはじめとして、働く・学ぶ・遊ぶ・交流するといった人々のあらゆる活動の舞台であり、都市の活力の源は人々が住まい、働き、学び、遊び、交流することによって生み出されます。

人々の「住まう」を支える住まいと都市の創造を通じて、府民一人ひとりの安全・安心で豊かなくらしを実現するとともに、大阪の活力を維持・発展させることが住宅まちづくり政策の重要な使命です。

たくさん、多様な人々が住まい、訪れる都市では、人々の活発な交流により、コミュニティや地域力が強化され、安全・安心が確保されるだけでなく、絶えずイノベーションが生み出され、活力と魅力あふれる都市が形成されます。

府民一人ひとりが安全・安心で豊かにくらすとともに、大阪が活力を維持・発展させていくためには、人口減少に歯止めをかけ、たくさん、多様な人々が住まい、訪れる都市を創造する必要があります。

大阪府では、住宅確保要配慮者の居住の安定確保や住宅・建築物の耐震化、密集市街地の再整備など、特に、府民の安全・安心確保に重点を置いた取組みが展開されてきました。

しかしながら、人口構造が大きく変化し、大阪の活力の低下がますます懸念される中、安全・安心確保を達成した後に、活力・魅力を生み出していくことを基本としたこれまでの考え方では、人々の安全・安心で豊かなくらしの実現や大阪が活力を取り戻すことは、難しくなってきています。

今後は、「活力・魅力が生み出され、多様な人々が活発に交流することにより、安全・安心が高まる」、あるいは、「一定水準未満のストックが存在しない安全・安心な状態が、活力・魅力を生み出す」といった、「活力・魅力」と「安全・安心」が相互に作用し合い、響き合うような政策を展開していく必要があります。

このため、今後の住宅まちづくり政策においては、これまでの府民の安全・安心確保の取組みの継承・発展はもちろんのこと、多様な人々を惹きつける活力と魅力あふれる大阪の実現に向けた取組みを一層進めていくことが求められています。